

何と云はうと、豈夫無法な事も云と
 から、辛くツても辛抱して怒らな

大なりしことも存候、總じて舊老を尋ね故

日二萬圓を募集せり（三日發）
祭菜料下賜
 兒島推護生前の功を思召され
 祭菜料千五百圓を下賜なり（以上四日發）

●**城壁處理委員會開會**
 昨午城壁處理委員會を設けられしより未だ
 一回も會議を催さざりしが明六日午前十時
 より内部に於て第一回の委員會を開き左の
 事項を審議す

一京橋東大門附屬出城收買地の件（濱城
 一新市を築き固圍を造成し利用の）

▲後繼内閣誰に

後繼内閣に就ては桂侯の外井上説山本説
亦勢力あり容易に決定の狀無し

▲廣東水害の義捐金

清國廣東省水害につき東亞同文會及び東
邦協會發起となり義捐金募集に着手し同

過日花月樓に於て開かれたる岡内部長官
宴會に於て本社長峯岸が爲したる演説は

清國廣東省水害につき東亞同文會及び東邦協會發起となり義捐金募集に著手し同日二萬圓を集合せり(三日發)

▲祭菜料下賜
兒島權様生前の功を思召され 兩陛下より祭菜料千五百圓を下賜さる (以上四日發)

昨日京城日報に披載せられたるものとは違ひの點あり阿れは明日の紙上にて明かすべし

●龍川府土地問題の過去
一進會對西北學會の問題となり同時に農工部對帝室及び國有財産調查局の問題とれる龍川府土地問題に關し過去に於て右

査局が執りたる處置を聞くに初め昨年十八日雲舘宮より宮内大臣に對し自分は

昨年京城總理委員會を設けられしより未だ一回も會議を催さざりしが明六日午前十時より内部に於て第一回の委員會を開き左の事項を審議す

一京城大門外陽明門城取廢りの件（漢城府生金大監陽明門城取廢り申付別紙の件）

數年外國に在りて其の間自己の獨立を願ふの暇なくしに於ける輩明禮宮於義宮親王宮經院院等の名を爲し龍川府下故郷の地より結核を收納しつゝあり故に己所願の地より結核を收納しつゝあり故に該地は自己に返還されん事を冀む旨を議す

醫院長佐藤男爵
古谷三浦、松井

本書簡は記者が往年南洋に在りし日故金玉均氏乃ち別名岩田爾策氏より接
受せしものなり今同本紙創刊に付挿論に代へて茲に掲出す

久シク福音に接せザルも舊雨の感は未だ曾て一日も胸宇に來
往セサル日ナシ別後ハ眠食を審にするを得ず大に憂愁罷在候
中天祐丸御付托玉書拜讀仁兄無事健康を審にするを得て無此
上覺愉快候生も去月稍く政府の羈絆を免れ自由の身と相成不
相變風塵馬蹄の間に消光罷在候條乍憚御休心被下度候仁兄も
瘴煙瘴霧中に在て南島の一孤客生は東洋絶海の一孤客營に御
再會の目を相樂居候先是還答まで 草々

周策

南洋王ナニベニケテ方

峰岸繁太郎様

一平安北道東林鎮城壁の一部取壊しの件
(京義線改築のため)
因みに城壁處理委員會長は關内都次官に
し
の兩面は元義州府の所管なりしを近年

府尹瘴風洩に對し事實の調査を命じたま
同年十一月三十日附を以て龍川府楊西

告せり依て、査局は雲峴宮に該土地に關する書類の提出を求めたるに同宮は大宛

西園寺内閣瓦解に觀したるの故、以て伊藤公には急使朝朝せらるゝ由なり

●曾瀬副統監の歸任
歸朝中の曾瀬副統監は昨日馬關を出發せられ本日歸任せらるゝ筈なり

●米國獨立祭
三月十三日の米國獨立祭に對して、

樹
尹、井上、藤川の八委員出席の上主査委

立憲を執行せり我伊藤統監は村田少將以下
十數名の隨員を率ひて参賀せらるる當日の参
賀者は英佛獨逸の各領事を在留外人三浦頭
事官高田副理事官へらルど通信員より云々
本氏スクラン博士韓國大官、及本社に
時岸等數十名にして米領事サンセン氏は極
宮内府所管不動産と對し慶善宮所屬の
地となりと云ふ因みに一進會は農工商部
借地の開墾するに至りたる經過は詳探の
に報導する處あるべし

●慶善宮財産の引繼

▲築城本部長視察

さても見事な
統監旗

樺原築城本部長は満朝要塞視察の爲め
日東京出發十二日元山、二十五日釜山
八月一日京城、八日旅順を経て同月下

賀者は英佛獨清の各領事各在留外
事官高瀬副理事官ヘラルド通譯員

西園寺首相は今朝天顔に咫尺し正式に骸骨を乞ひ私邸に引取りたり

本氏スクラントン博士韓國大官及峰岸等數十名にして米領事サンセ

一圓券百十七萬二千圓五圓券百三十七萬五
千圓十圓券百六十二萬圓にして内十圓券

●慶善宮財産の引繼
六月三十日迄に既に消却したるもの十二萬
宮内府所管不動産と其に慶善宮所屬の財産 五千百五十圓なりと云ふ

も或は今暫く位の處にて居据りど

●本日紙廿四頁

推知し得べし（さうしやうしやうべし） 弦一寸見物也（しやういちゆんけんぶつ）

▲藤澤 宰相の厭氣になりしは今の事に非ず事情は余義なく今日に至る心事諒すべし
▲今國 も或は今暫く位の處にて居据りとなりはせぬや局面の轉回には些と六數からん

▲德岡政喜(歩兵中尉) 來京中の處一昨日
▲山(向へ) 平壤地方裁判所判事) 平壤へ
▲羽山直吉(公益事業學堂教授) 巴城都
▲羽山直吉(日支貿易會社) 向上
▲相澤松村(日本毛織會社員) 釜山(向へ)

●本日紙廿四頁

城 辯
手形組合



VERY GOOD
SHOES

良改
靴陰保

從來當地に數千軒の同業者あるにも不拘而内地へ少な差する多ふ共之候是れ原點に於てのみ直輸入し且其和型品は弊店に於て尤も吟味精選して大に安賣致候修内地より御求め相成候ものにて大に御徳用に御來候此際際諸君買求致下度願

[illegible]

富田製靴所
本町六丁目
支店

（番九十五〇千九座口替振）（番五十四百話電）目丁二町本城京國韓

日 韓 書 房



韓書房文房具部



日韓書房叢刊部

韓國唯一の大雑誌

月刊
朝鮮

薄田斬雲著 (最新版發賣)

朝鮮生活ヨボ記

鳥越靜岐
薄田斬雲
共著
(八月中旬發賣)

朝鮮漫畫

菊池謙讓著（八月下旬發賣）

大院君傳
韓國最近外交

上製美本全一冊
定價金一圓
郵稅十錢

| | | | |
|---|---|---|---|
| 稅 | 定 | 全 | 上 |
| 郵 | 價 | 金 | 製 |
| 金 | 六 | 一 | 頗 |
| 六 | 十 | | 美 |
| 錢 | 錢 | 冊 | 本 |

洋裝美本全一册
定價金六十錢
郵稅金六錢

每月一回一日發行
一冊金二十錢
郵稅壹錢五厘
六冊前金一圓廿錢
十二冊前金二圓卅錢
但各郵稅共

●韓語大辭典

●
韓
語
讀
本

● 隆熙新算術

◎ 世界歷史

◎大韓歷史

◎ 世界地理全一

上製全一
定價金六十一

上製全一
定價金五十

定價 五十

● 旺 辰 定價金七十

洋幣定價金五十五

-4-